

吉備路風土記の丘周辺

古代遺跡の宝庫である「吉備路」。「造山古墳」(全長 360 m・全国 4 位・岡山市)「作山古墳」(全長 282 m・全国 10 位・総社市)の二大巨墳に代表される無数の古墳群や、備中国分寺・尼寺跡など、当時の繁栄を物語る貴重な文化財や史跡が散在しています。



歴史散歩

備中国分寺

寺域：国指定史跡 | 建物群：県指定重要文化財 | MAP >>> H-6 |

市南部の美しい丘陵地帯のほぼ中心部に位置し、聖武天皇の発願によって諸国に建立された国分寺の一つです。当時の境内は、東西約 160 m、南北約 178 m と推定されますが、建物は南北朝時代に焼失したと伝えられ、全貌は明らかではありません。南門や中門など数多く残る礎石から創建当時の壮大さをしのぶことができます。現在ある建物は江戸時代に再建されたものです。



備中国分寺五重塔

国指定重要文化財 | MAP >>> H-6 |

県内唯一の五重塔で、国の重要文化財に指定されています。現在の五重塔は総高約 34.3 m の大規模な塔で、木造本瓦葺きで青銅製の相輪をたてています。3 層までは檜材、4・5 層は松材が主体で、心柱が塔の中央を礎石の上から相輪まで達しており、初層には、大日如来(中央心柱)を中心に、東は阿闍(あしく)、西は阿彌陀(あみだ)、南は宝生(ほうしょう)、北は不空成就(ふくくじょうじゆ)の五智如来が安置されています。

備中国分尼寺跡

国指定史跡 | MAP >>> I-6 |

備中国分寺の東方、約 700 m のなだらかな丘陵上にあります。国分寺と同じように聖武天皇の発願によって建立されました。今では建物の礎石や築地土堀の痕跡を残すのみですが、当時の寺域は、東西 108 m、南北 225 m と推定されます。建物は、境内の中心線上に南門、中門、金堂、講堂が一直線に配置され、中でも金堂は残っている礎石からかなり大きな建物だったと想像できます。



総社吉備路文化館

MAP >>> H-6 |

かな書家で文化勲章受章者の故高木聖鶴氏の作品と総社市に縁のある美術作品を展示しています。併せて吉備路の歴史遺産も写真で紹介していますので、一帯の散策を楽しむための絶好の立ち寄りスポットです。

>>> DATA

時 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
 休 月、年末年始 (12/29 ~ 1/3)
 (展示替えのため臨時休館の場合あり)
 ￥ 無料 (企画展によっては有料の場合あり)
 TEL 0866-93-2219 上林 1252

